



▲法被姿で沿道の市民に火災予防を呼び掛ける園児たち

大きな声で「火の用心！」

津山で幼年消防クラブ防火パレード

秋季火災予防運動の一環として、つやま幼稚園幼年消防クラブの園児47人が11月9日、防火パレードを行いました。父兄会や婦人防火クラブ員らが参加のもと、柳津小の校庭で出発式を開催。園児の代表が「ぼくたちわたしたちは絶対に火あそびはしません」と誓いの言葉を発表しました。その後、柳津小を出発した園児たちは、つやま幼稚園までの約1^きの区間を、拍子木を打ち鳴らしながら大きな声で「マッチ一本火事のもと」「僕はほしくないぞ火あそびを」と沿道の市民に火災予防を呼び掛けました。

日ごろの練習成果を発表

南方で「みなみかた秋まつり」

みなみかた秋まつりが11月3、4日の2日間、南方公民館を主会場に開催されました。展示会、芸能発表会、リサイクルチャリティバザー、あやめ園祭り、商工祭などのさまざまな催し物を実施。展示会では、町内各小中学校の児童生徒が作成した絵画や書道をはじめ、菊花、陶芸、手芸などの作品が展示されました。また、ステージでの芸能発表会では、文化協会の各サークル会員が舞踊や民謡などを発表。日ごろの練習の成果を披露し合い、会場からはたくさんの拍手が沸き起こっていました。



▲絵画や書道、陶芸、手芸など数多くの作品が展示された秋まつり

伝統のおいとこ踊りを競演

迫で伊達なおいとこ踊り宮城大会

第17回伊達なおいとこ踊り宮城大会（奥州森邑十三講奉賛会主催）が11月10日、森公民館で開催されました。「おいとこ踊り」は、主に岩手県南から宮城県北にかけて、祝いの席で座敷踊りとして踊られており、現在の千葉県芝山町が発祥の地といわれていますが、地域ごとに唄や踊りが少しずつ違います。今年は市内外の6歳から77歳までの22組が参加し、最優秀賞（宮城県知事賞）に岩淵純香さん（一関市）が輝きました。そのほか、市長賞や教育長賞なども贈られ、会場から入賞者にたくさんの拍手が送られました。



▲祝いの席で座敷踊りとして踊られる「おいとこ踊り」の競演

温かい善意で盲導犬育成支援

米山で「ふるさとよねやま秋まつり」

「ふるさとよねやま秋まつり（同実行委員会・登米みなみ商工会・ふる里センターYY主催）」が、10月27、28日の2日間、米山総合支所と道の駅米山周辺で開催されました。今年から新たに、「ちびっこ相撲大会 米山場所」も実施。闘志あふれる取り組みが行われました。「ふれあいこども広場」では、米山高生徒や地区コミュニティ会員がスタッフとなり、集まる子どもたちを楽しませました。また、祭りでは盲導犬の普及育成として、各コーナーに犬型の募金箱を設置。多くの来場者から善意が寄せられました。



▲小さい子どもたちが闘志あふれる取り組みをみせた相撲大会



▲グループリーダーの指導でどんぐりの実をまく米川・鱒淵小の児童

みどりの森林を次世代へ

東和で市民参加の新たな森林づくり

伐採後の山を再び豊かな森にしようと、「市民参加の新たな森林づくり事業」が11月13日、東和町米川地内の山林で開催されました。米川小と鱒淵小の全校児童や市内外の一般住民らが参加。開会セレモニーの後、米川生産森林組合などの関係者がグループリーダーとなり、子どもたちは広葉樹となる「どんぐりの実」をまきました。まいた実から発芽し、実を付けるまでには20年以上かかるといわれ、子どもたちが大人になるころには、伐採された山が再び豊かな森林として生まれ変わるようになります。

千人分の芋煮汁に長蛇の列

石越で「まるごといしこしまつり」

「まるごといしこしまつり（同まつり実行委員会主催）」が11月4日、チャチャワールドいしこして開催され、市内外から約3,600人が訪れました。会場内では、石越牛の試食・販売コーナーやリサイクルチャリティバザー、商工祭りなどを実施。和太鼓やアマチュアバンドの演奏、今年から新設された消防防災・交通安全体験コーナーなど、さまざまなイベントが催されました。また、祭りの目玉である「ジャンボ芋煮汁」には長蛇の列ができ、用意された1,000人分の芋煮汁は瞬間に無くなりました。



▲直径約2mの大鍋で作った芋煮汁は瞬間に無くなりました